



平成 29 年度事業計画 平成 29 年 5 月～平成 30 年 4 月

1. 調査研究・開発事業

◆「働くことを諦めた中年ニートの企業を巻き込んだ再チャレンジ！プロジェクト」 (助成金 申請中)

- ①実態調査：中年ニートの世代が働く事を「あきらめた」理由と、あきらめから回復し再び希望を取り戻して、社会復帰（就労）に至ったプロセスを聞き取る。
- ②プログラムの開発：「働くよ！全員集合ワークショップ」の開発
就労へと向かう段階になった中年ニートを、企業と地域で受け入れるためのワークショップを開発。

2. 相談・支援事業

◆名古屋市子ども・若者総合相談センター（名古屋市委託事業）

0歳～概ね39歳までの、ニート、引きこもり、不登校、非行、暴力、生活困窮など、若年者の社会的課題を解決するためのワンストップ相談センター。本年度は新たに、連携支援コーディネーター（副センター長）・学校連携コーディネーター・立ち直り支援コーディネーターを新設配置。ボランティア（よりそいサポーター）の50名増員にも取り組んで行く。

3. 生活支援事業

◆居宅介護事業所 でこぼこ（福祉事業）

障害者総合支援法に基づく障害者の家事援助等、ヘルパーサービスを提供する。

◆ボランティアバンク「猫の手バンク」（自主事業）

様々な理由により福祉等の既存の制度やサービスに乗ることができず、社会的孤立や困窮状態にある方の生活支援をボランティアにより行う。

4. 地域コミュニティ事業

◆コミュニティスペース「ぶくパル」事業（自主事業）

- ・若者のチャレンジの場所（古本リユース事業の作業スペース）
- ・＜ぶくパル映画祭＞の開催
- ・スペース貸事業（プレミアム松・松・竹・梅コース）



5. ネットワーク創出事業

◆「できることもちよりワークショップ」

『誰ひとり取り残さない地域社会づくりプロジェクト 2017』にて、「できることもちよりワークショップ」を実施。またワークショップ開催・地域開発のスーパーバイザーを育成する、支援者育成事業を実施する。

○事業主催：公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会

○WS 実施地域：松本市（松本大学）、名古屋市（協和病院）、北陸（未定）

○指導者育成：東京にて 11 月開催予定

◆インフォーマルネットワーク名古屋（自主事業）

多様な専門分野の支援団体が参加し、ソーシャルワークの手法の共有化や、各支援団体だけでは解決に至らないケースの共有などにより問題解決に取り組むためのネットワーク会議（不定期開催）。

6. 普及・社会活動事業

◆平成30年度 第14回全国若者・ひきこもり協同実践交流会 準備会立ち上げ

平成30年度の上記全国大会の主宰が決定。準備会の立ち上げによる開催に向けた推進に関わる事業

◆厚生労働省委員：社会福祉推進事業委員

生活困窮者自立支援法の就労支援事業における認定企業の開拓についての検討委員

◆内閣府講師

平成29年度「子供・若者地域支援ネットワーク強化推進事業」合同研修会 講師

◆その他講演・講師依頼

<草Pの情報はインターネットで発信しています♪>

・ホームページ：<http://grassroots.jimdo.com>

・Facebook <https://www.facebook.com/grassroots.p>



草の根ささえあいプロジェクト

